

岐阜県

被推薦者 氏名 馬淵 昭宏 (まぶち あきひろ)

(満40歳 昭和52年9月15生)

1 推薦の理由

被推薦者馬淵昭宏は、とても几帳面な性格であると同時に非常に高い事務処理能力を持ち、どんな仕事も緻密で正確に行うことができる。また、物事を論理的にとらえる力に優れ、課題や問題の分析から対処法までを全体的にとらえ合理的に考えることができる。そして、日頃から他の教諭の模範となる授業を展開するため同僚からの人望も厚い。

平成26年に岐阜県で行われた第53回全国学校体育研究大会においては、陸上競技長距離走の公開授業を行い、その中でも蓄積した多くの資料を生徒にわかりやすく示し、生徒が自らの課題を見つけやすくするなどの工夫により生徒の学習意欲を高めた。これにより、生徒が自ら課題を見つけ主体的に取り組む授業を展開して高い評価を得た。以上の理由から、岐阜県では馬淵昭宏教諭を優秀教員として推薦する。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

全国学校体育研究大会岐阜県大会においては、「生徒が自ら課題解決を図って、主体的に長距離走に取り組むための工夫」をテーマに、陸上競技長距離走の授業を行い、「自分との戦い、辛い、苦しい」というイメージの長距離走を「仲間と共に走る、楽しい、爽快」に転換していく授業を公開し高い評価を受けた。

その工夫内容は、1つ目に長距離走への意欲を高める工夫として、長距離走の授業でありがちなタイムトライアルを最小限とし、LSDをはじめ多くの持久力トレーニングがあることを理解させ練習に取り組みさせた。また走力別のグループをつくり、自分たちの能力に合った無理のない課題や目標、練習内容を設定させた。2つ目に、自己の体調に応じて練習に取り組むための工夫として、毎時間の授業の初めに安静時の心拍数と自己の主観による5段階の体調チェック、練習終了後に心拍数と主観的運動強度チェックを行わせた。3つ目は、効率の良いフォームを身につけさせるための工夫、そして単元の序盤のウォーキングやLSDなどゆっくりしたペースによるランニング時に、グループ内で『背筋を伸ばす』『足裏全体で接地する』など簡単な注意点についてお互いのフォーム

をチェックさせた。4つ目は、理論的なトレーニング法に基づいた練習の計画と実践（体育理論との融合）で、体育理論の授業で学んだトレーニングの原理や体力トレーニングの進め方、トレーニング方法（インターバルトレーニングやレペティショントレーニング等）をもとに能力や目標を踏まえながら設定タイムや距離・本数を工夫するなど、グループ毎に練習方法を考え実践させた。

これらの工夫により、従来よりも生徒の意欲的な授業への取り組みが見られた。また、自己や仲間の課題に応じた様々な持久力トレーニングを組み合わせながら練習計画を立案し、練習を行うという課題解決学習は、生徒の主体的な学習活動が見られただけでなく、記録や持久力の向上も確認できた。

<成果を証明する資料>

- ・平成26年度第53回全国学校体育研究大会 岐阜大会研究紀要
- ・平成26年度第53回全国学校体育研究大会 岐阜大会指導案

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成26年11月6日に行われた全国学校体育研究大会岐阜大会において「グループの課題に応じて生徒が主体的に練習できる陸上競技（長距離走）の授業」の授業公開及び研究の概要についての発表を行った。

平成27年3月号の体育科教育（大修館書店）に「生涯スポーツにつながる長距離走の授業づくり」の特集に寄稿した。

4 勤続年数 11年

5 職歴

- 平成12年 岐阜県立岐阜盲学校講師
- 平成16年 関市立関商工高等学校講師
- 平成19年 岐阜県立八百津高等学校教諭
- 平成22年 岐阜県立岐阜高等学校教諭
- 平成29年 岐阜県立岐阜高等学校教諭